令和　3年度　　高松市施策評価表（　2年度分）

総合計画体系		
まちづくりの目標		安全で安心して暮らし続けられるまち
	政　策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成
	施　策	交通安全対策の充実

総合評価
B

評価担当	
局名	市民政策局
課・室名	くらし安全安心課
電話番号	087-839-2555

1　施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	交通安全教育・啓発活動を推進し、交通安全意識の向上を図り、市民が道路を安心して、安全に通行できる環境を整える。

2　施策の成果状況

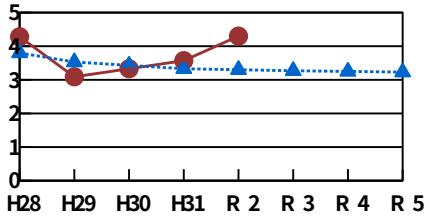
成果指標①

指標名	単位		実績値 30年度	実績値 31年度	実績値 2年度	中期目標 4年度	長期目標 5年度	指標のうごき
人口１０万人当たりの交通事故による死者数	人		3.33	3.57	4.3	3.25	3.23	

成果状況／達成度評価

交通事故による死者数が、令和元年の１５人から、令和２年は３人増の１８人になり、人口１０万人当たりの交通事故による死者数が２０％増の４．３０人となっていることから、交通安全教育・啓発及び交通環境整備の推進が必要である。

成果状況の推移



目　標達成度

（達成度）69.7%

20点

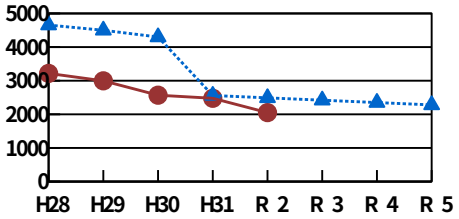
成果指標②

指標名	単位		実績値 30年度	実績値 31年度	実績値 2年度	中期目標 4年度	長期目標 5年度	指標のうごき
交通事故発生件数	件		2,569	2,477	2,051	2,350	2,280	

成果状況／達成度評価

平成１８年をピークに交通事故発生件数は年々減少しており、令和２年も対前年比８２．８％の件数と順調に推移している。

成果状況の推移



目　標達成度

（達成度）117.6%

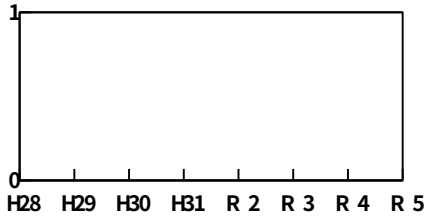
30点

成果指標③

指標名	単位		実績値 30年度	実績値 31年度	実績値 2年度	中期目標 4年度	長期目標 5年度	指標のうごき

成果状況／達成度評価

成果状況の推移



目　標達成度

（達成度）

3　市民満足度調査の状況

	30年度	31年度	2年度	
満足度	27位　（ 24.7%）	23位　（ 29.7%）	27位　（ 27.0%）	
不満度	6位　（ 25.2%）	6位　（ 27.5%）	3位　（ 30.9%）	
重要度	5位　（ 79.9%）	7位　（ 83.1%）	7位　（ 79.7%）	

4 施策に係るコスト

	30年度（決算）	31年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）
事業費	127,838	119,581	123,174	126,836
人件費	89,458	85,137	83,948	80,207
トータルコスト	217,296	204,718	207,122	207,043

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

【市民政策局・都市整備局】高齢者に対する交通安全対策を推進するとともに、地域との協働で交通マナーの一層の向上に取り組んでいるほか、交通安全施設整備による安全対策を図るなど、安全な道路環境整備を推進している。
　今後も、交通安全教育や啓発活動に取り組むとともに、道路環境整備の効果的な推進により、交通事故防止に努める必要がある。

施策推進の方向性

市民満足度調査において不満度が高い現状も踏まえ、引き続き、交通安全対策の充実に向け、各種事業を推進していく。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価） D	
交通安全教育・啓発の推進							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		交通安全教育等推進事業	58%	C	継続	幼稚園、保育所、小学校、中学校交通安全教室参加者数	46.5%
						高齢者交通安全教室等参加者数	37.1%
	○	交通安全啓発推進事業	30%	D	継続	交通安全フェア参加者数	0.0%
						統一街頭キャンペーン参加者数	0.0%
○	○	高齢者等交通安全啓発推進事業	74%	B	改善継続	６５歳以上の運転免許証自主返納者数	140.8%
						高齢者交通安全教室等参加者数	37.1%

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価） A	
交通環境の整備							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		違法駐車防止対策事業	91%	A	継続	違法駐車防止重点地域における平均瞬間違法駐車台数	132.8%
		（評価対象外）放置自動車等対策事業					
		（評価対象外）交通安全施設整備事業					
		（評価対象外）番町地下道管理事業					

基本事業名						（総合評価）	
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度